

令和6年3月31日

東御市議会議長

中村 眞一 様

会派名 さわやかな風の会

代表者氏名 長越 修一

令和5年度 政務活動費収支報告書

東御市議会政務活動費の交付に関する規則第7条の規定により、下記のとおり、令和5年度政務活動費収支報告書を提出します。

記

交付金額	720,000	円
支出金額	587,002	円
差引金額	132,998	円

(支出の内訳)

(単位：円)

科目	決算額	政務活動費充当額	説明
調査研究費	558,566	558,566	視察等
研修費			
広報費			
広聴費			
要望・陳情活動費			
会議費			
資料作成費			
資料購入費	12,856	12,856	市議会会議録代
人件費			
事務所費	15,580	15,580	コピー用紙等
計	587,002	587,002	

(実施事業)

事業名	事業内容
会派視察 会派合同視察 資料購入 消耗品購入	宮城県【仙台市・石巻市・登米市】へ行政視察 石川県【かほく市】 富山県【南砺市】へ行政視察 市議会会議録購入 会派室備品の消耗品購入

政務活動記録簿

会派名	さわやかな風の会
事業名	議会会派行政視察【宮城県 仙台市・石巻市・登米市】
実施日	令和5年11月14日(火)～16日(木)
参加議員	長越修一、山崎康一、中村眞一、滝澤栄一、田中博文

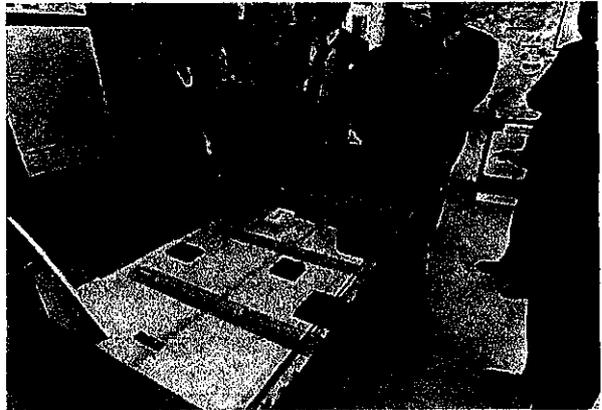
1 東御市における課題と研修・調査の目的

【仙台市】震災遺構荒浜小学校
 【石巻市】震災遺構大川小学校・東日本大震災津波伝承館 では現在の復興状況をみながら、防災・減災意識の向上に向けた取り組みについて視察し見識を深めた。
 【登米市】市民共同のまちづくりについて事業の実績及び取り組み状況についてお聞きし、見識を深めた。

2 経費

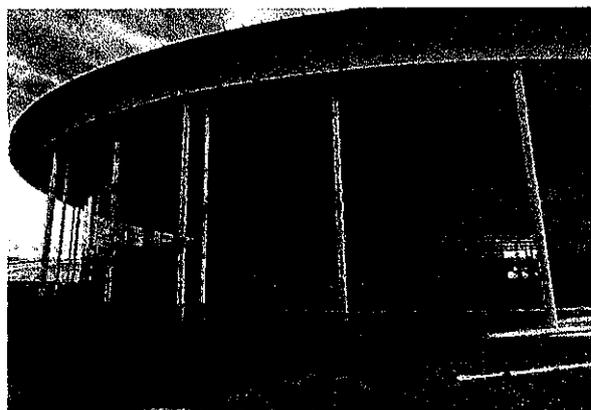
使途項目	経費の内容と内訳		金額 (円)
(該当項目に○)	交通費	新幹線代・レンタカー・保険・手数料代	241,340
	レンタカー代	レンタカー延長代	2,420
○調査研究費	ガソリン	レンタカー	3,612
研修費	視察先謝礼	視察先土産代	5,659
広報費	視察案内	石巻大震災まなびの案内代	5,000
広聴費	日当	宿泊料、日当 ((@13,000円+@2,200円×3日) ×5名)	98,000
要請・陳情活動費			
会議費			
資料作成費			
資料購入費			
人件費			
事務所費			
合計			356,031

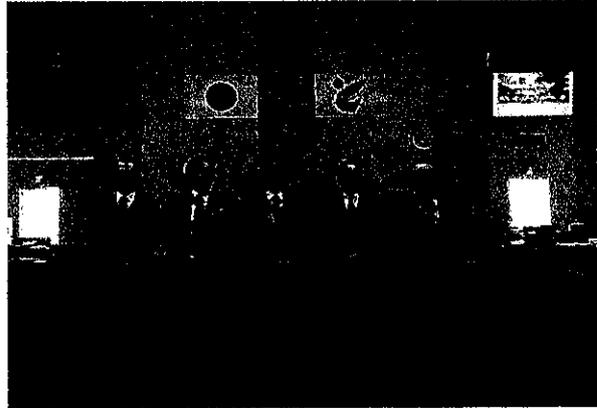
※ 裏面に本事業に要した領収書その他支出を証する書類を添付のこと

実施日時	令和 5 年 11 月 14 日	
視察場所及び 部局等	宮城県仙台市 旧荒浜小学校	
視察事項	震災遺構仙台市立荒浜小学校について	
報 告 内 容	<p>(1) 視察先概要</p> <p>2011年3月11日に発生した東日本大震災において、仙台市立荒浜小学校は、校舎2階まで津波が押し寄せ、大きな被害を受けた。震災当日、児童や教職員、住民ら320人が避難したその校舎を震災遺構として公開し、東日本大震災の教訓と地域の記憶を、後世へ伝えている。現在遺構として保存されている校舎について視察を行った。</p>	
	<p>(2) 視察事項について</p> <p>校舎外周や1階および2階では、当時の被害の様子がそのまま残されており、津波のすさまじさを目の当たりにすることが出来た。校舎の被害状況や被災直後の様子を伝える写真などからも、荒浜小学校を襲った津波の脅威を感じた。</p> <p>4階では、地震発生から避難、津波の襲来、救助されるまでの経過を写真や映像で振り返るとともに、災害への備えについて学ぶことが可能で、同時に荒浜地区の歴史や文化、荒浜小学校の思い出なども紹介されていた。</p>	
	<p>(3) 所感・市政に活かせること</p> <p>震災の後、防潮堤を再建してまちづくりがどのように行われたかが、模型によって分かり易く説明を受けた。</p> <p>盛土による自動車道路の建設を進め、物流や生活に欠かせない道路の機能と、津波を防ぐ機能を両立させている点は、長期的な視点に立って、インフラ整備を行うためにも、多角的な視点が重要であると感じた。</p>	

(視察先の写真等がある場合は添付)

実施日時	令和 5 年 11月 15日
視察場所及び部局等	宮城県石巻市 石巻南浜津波復興祈念公園
視察事項	石巻南浜津波復興祈念公園について
報告内容	<p>(1) 視察先概要</p> <p>宮城県石巻市は、約4千人の犠牲者が集中した国内最大の被災市町村で、中でも旧北上川河口部に位置する南浜地区は津波の襲来とその後に発生した火災の延焼により500人以上の方々が犠牲となった。特に被災の大きかった南浜地区は地震、津波、火災及び地盤沈下の被害を複合的に受けており、東日本大震災の平野部の被災を代表する場所となっている。</p>
	<p>(2) 視察事項について</p> <p>復興記念公園内にある、みやぎ東日本大震災津波伝承館は、東日本大震災と同じ悲しみと混乱を繰り返さないために、震災の記憶と教訓を永く後世に伝え継ぐとともに、県内の震災伝承施設等へ誘う玄関口の役割を果たすことを目指している。</p> <p>かけがえのない命を守るために、未来へと記憶を届ける場をコンセプトに、リアルな津波の映像や被災者の証言等により、津波から命を守るためには「逃げるしかない」ことを訴える映像が流れていた。</p>
	<p>(3) 所感・市政に活かせること</p> <p>津波伝承館では、多くの写真がや構造物が展示され当時の災害の様子を創造する事が可能な工夫がされていた。しかしながら、動画を用いて災害発生直後の様子を伝える展示も多く、写真よりもより緊迫感が伝わるような、強い衝撃を受けた。</p> <p>情報の伝達方法は様々あるが、動画を効果的に用いた手法は、人の五感に直接訴えるようなインパクトがあり、本市においても注意を払いながら情報伝達に活用していきたいと感じた。</p>



実施日時	令和 5 年 11 月 16 日
視察場所及び 部局等	宮城県登米市役所庁舎
視察事項	登米市の協働によるまちづくりについて
報 告 内 容	<p>(1) 視察先概要</p> <p>宮城県登米市では、協働によるまちづくりを推進している。旧来は、公共の部分を行政が担っていたが、現在では行政をはじめとした個人・企業・社共ボランティア・NPOなど様々な団体が共に関わりあってまちづくりを進めている。NHKの連続ドラマで舞台になった地でもある。</p> 
	<p>(2) 視察事項について</p> <p>協働によるまちづくりの位置づけは、登米市の第二次総合計画の基本政策として、市民と行政がともに創る協働によるまちづくりと定めている。特に各地のコミュニティ組織と連携して、地域づくり計画を策定して、集落支援員への研修を行いながら、地域づくり応援交付金を活用してそれぞれの活動を支援していた。</p> 
	<p>(3) 所感・市政に活かせること</p> <p>協働によるまちづくりを進めながら、地域課題の洗い出しを行い、課題の解決に向けた取り組みを重ねている点は、是非とも取り入れていきたいと感じた。</p> 

(視察先の写真等がある場合は添付)

政務活動記録簿

会派名	さわやかな風の会
事業名	議会会派合同行政視察【富山県南砺市、石川県かほく市】
実施日	令和5年11月1日(水)～2日(木)
参加議員	長越修一、山崎康一、中村眞一、滝澤栄一、田中博文

1 東御市における課題と研修・調査の目的

自治体の人口減少が全国的な課題であり、東御市においても移住・定住施策は重点事業として取り組んでいる。今後の施策の参考とするため、先進的取り組みを行っている自治体の視察を実施した。

【南砺市】

・南砺市「副業」応援市民プロジェクトの効果と実績及び今後の交流人口創出に向けた施策について視察し、見識を深める。

【かほく市】

・移住・定住施策について、事業の実績及び取組状況についてお聞きし、見識を深める。

2 経費

用途項目	経費の内容と内訳		金額(円)
(該当項目に○) ○	交通費	貸切バス代、有料道路代等 (@22,667円×5名)	113,335
○	調査研究費		
研修費	視察先謝礼	視察先土産代 (@440円×5名)	2,200
広報費	日当	宿泊料、日当 (@13,000円+@2,200円×2日)×5名)	87,000
広聴費			
要請・陳情活動費			
会議費			
資料作成費			
資料購入費			
人件費			
事務所費			
合計			202,535

※ 裏面に本事業に要した領収書その他支出を証する書類を添付のこと

3 実施概要 (視察箇所ごとに記載)

(No. 1)

実施日時	令和5年11月1日(水) 午後1時30分～午後3時
視察場所及び部局等	富山県南砺市議会
視察事項	南砺市「副業」応援市民プロジェクトについて
報告内容	<p>(1) 視察先概要</p> <p>南砺市における地元企業の抱える課題として、販路拡大や生産性向上など経営課題は、専門性のある人材が不足していると考えている。 そこで、募集しても応募がない、地域に専門人材がいないなどの課題を解決するために、ビジネス面での応援市民を外から集めようと考えていた。その取組について視察研修を行った。</p>
	<p>(2) 視察事項について</p> <p>課題解決に向けて、南砺市副業応援市民プロジェクトを立ち上げた。 まず首都圏の人材をターゲットとして、2018年の副業解禁を受け、元の職を持ちながら地方での副業が可能か検討を進めた。市と商工会そしてマッチングを行う団体が連携して、課題解決に向けたニーズを発信して、マッチングを積み重ねて、継続的な関係人口の創出に努めていた。 すべての応募に対して採用が実現できている訳ではないが、支援金を活用して社労士などの外部人材の活用促進を行っている。</p>
	<p>(3) 所感・市政に活かせること</p> <p>地元の企業が抱える課題を、すべて自前で準備し解決するのではなく、外部委託のような形で、外で実現できている人材を獲得する取り組みは、解決に向けたスピード感があるように感じた。 また地元を離れた人材が、マッチングにより再び関係を取り戻すきっかけが増える取り組みではないかと考えます。</p>



(視察先の写真等がある場合は添付)

3 実施概要 (視察箇所ごとに記載)

(No.2)

実施日時	令和5年11月2日(木) 午前10時～午前11時30分
視察場所及び 部局等	石川県かほく市議会
視察事項	移住・定住施策について
報 告 内 容	<p>(1) 視察先概要</p> <p>かほく市では、平成16年の合併以来出生数の低下が課題ととらえ、平成22年にかほく市若者マイホーム取得奨励金制度の創設を行い、定住促進に力を入れてきた。この取組について視察研修を行った。</p>
	<p>(2) 視察事項について</p> <p>市では、平成22年に部局横断の市職員による「定住促進プロジェクトチーム」において定住促進施策の調査検討を行った結果、複数の新規および拡充事業を市長に提言した。新婚の住宅に関する応援事業補助金や、不妊治療費助成の拡充や、子ども医療費助成の拡充など多くの提案事業が実現している。いずれも若手職員からの市長へ向けた提言であり、若い世代のニーズを市職員自らが創出している点が特徴的だった。</p> <p>それぞれの助成に費用負担が発生するが、国や県の人口統計が右肩下がりの中、かほく市の人口は着実に増加している。市職員の説明では、移住者への費用負担の偏りはあるものの、将来へ向けた住宅建設を伴った人口増加は、地元市民から不満の声は大きくないとしていた。</p> <p>平成27年から、シティプロモーション事業に力を入れて、知名度や認知度の向上に努めて、住みよさランキングの上位になっていた。</p>
	<p>(3) 所感・市政に活かせること</p> <p>人口減少対策は、簡単に解決できる問題ではないと思うが、市職員自らが市長へ提言する取り組みは、市職員の主体性を育て、課題解決へむけた確かな解決策のひとつではないかと感じた。</p> <p>世代間のニーズは、必ずしも一致する訳ではないが、年齢別に分類したニーズをしっかりと示していく姿勢は、是非とも取り入れていきたいと思います。</p>

(視察先の写真等がある場合は添付)

政務活動記録簿

会派名	さわやかな風の会
事業名	消耗品購入
実施日	
参加議員	長越修一、依田俊良、中村眞一、山崎康一、滝澤栄一、田中博文

1 東御市における課題と研修・調査の目的

消耗品購入

2 経費

使途項目	経費の内容と内訳		金額 (円)
(該当項目に○)	コピー用紙	A4用紙 500枚×3	1,094 ✓
	コピー用紙	A3用紙 500枚×1	798 ✓
調査研究費	USB	A-B変換アダプター×1	998 ✓
研修費	インク	4色入りセット×1	12,690 ✓
広報費			
広聴費			
要請・陳情活動費			
会議費			
資料作成費			
資料購入費			
人件費			
事務所費			
合計			15,580 ✓

※ 裏面に本事業に要した領収書その他支出を証する書類を添付のこと

政務活動記録簿

会派名	さわやかな風の会
事業名	東御市議会定例会等会議録購入
実施日	
参加議員	依田俊良、中村眞一、長越修一、山崎康一 齊藤哲（3月定例会分のみ）、滝澤栄一、田中博文、 村山弘子（3月定例会分のみ）、花岡豊一（3月定例会分のみ）

1 東御市における課題と研修・調査の目的

本会議における議案の採決に至るまでの経過や審議された内容等について、今後の議会活動や市政の調査研究に活用するとともに、会派内議員の正確な情報共有を図るため、東御市議会定例会等の会議録を購入した。

2 経費

使途項目	経費の内容と内訳		金額（円）
(該当項目に○)	市議会会議録購入代	3月定例会 会議録	6,640
	〃	6月定例会 会議録	1,884
調査研究費	〃	9月定例会 会議録	2,230
研修費	〃	12月定例会 会議録	2,102
広報費			
広聴費			
要請・陳情活動費			
会議費			
資料作成費			
資料購入費			
人件費			
事務所費			
合計			12,856

※ 裏面に本事業に要した領収書その他支出を証する書類を添付のこと